

お知らせ

INFORMATION

No.2024-17

2024年7月

病体生理研究所

「BDバクテック™血液培養ボトル」出荷調整への 対応について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用下さいまして誠に有難うございます。

この度、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社より「BDバクテック™血液培養ボトル」の出荷調整に関する連絡がございました。原材料の供給に3ヶ月程度の遅延が発生したため、今後の製造と出荷が通常時の50%程度に制限される見込みとの事です。

各医療機関におかれましては大変ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

【出荷調整対象製品】

検査案内	容器名称	製品名	病体生理 容器コード
P110	・カルチャーボトル好気用（銀色）	・BDバクテック™23F好気用 レス®ボトルP	70066
	・カルチャーボトル嫌気用（金色）	・BDバクテック™22F嫌気用 レス®ボトルP	70067

【対応について】

対象製品につきまして、出荷実績に応じて月あたりの出荷上限枠を設けさせていただきます。

同問題に関しては、7月3日に日本臨床微生物学会、日本感染症学会のサイトに「「BDバクテック™血液培養ボトル」出荷調整への対応について」のお知らせが掲載されております。

当研究所としまして、裏面に記載した両学会の注意喚起について各医療機関の皆様にご協力をお願いする次第です。

具体的な出荷上限枠については、別途ご連絡申し上げます。

（裏面もご確認下さい）

1. 血液培養ボトルの発注量の適正化

これまで発注していたレベル以上の発注や在庫の確保を目的とした発注については、極力控えていただくようお願いします。

2. 血液培養の対象の見直し

血液培養の対象となる優先順位から考えて、菌血症・敗血症患者への2セット採取は必要と考えます。ただし、その一方で、菌血症の陰性化確認は対象を限定するか1セットでの採取はやむを得ないと思われれます。また、状態が比較的安定している患者や他の培養検査で原因菌の検索が可能と思われるような患者においては、血液培養の対象からはずすこともご検討ください。

3. 院内ルールの設定と周知の徹底

各医療期間によって血液培養の実施状況は異なるため、各施設に応じた院内ルールを決めていただく必要があります。現在よりも半数程度に血液培養を抑えるために、どの部分を減らせるかについては微生物検査室やASTなどで相談していただき、妥当な院内ルールの案をご検討ください。そしてそのルールが守られるよう院内における周知徹底をお願いします。

一般社団法人日本臨床微生物学会
一般社団法人日本感染症学会

今後の見込み、および出荷調整の解除時期につきましては、詳細な情報が入り次第、改めてご連絡申し上げます。より詳細な情報につきましては各サイトをご参照して頂きますと幸いです。

- ・一般社団法人日本臨床微生物学会：<https://www.jscm.org/>
- ・一般社団法人日本感染症学会：<https://www.kansensho.or.jp/>

以上